



夕刻になると、今朝「絶縁状」を出したばかりのビールへの思いが募り、喉(のど)の疼(うず)きがたまらない季節となりましたが、この暑い季節、皆様どうお過ごしでしょうか。今年の夏は、コロナの影響で大きな祭りや大会等も中止となりました。様々な大会に向けて必死に頑張っ

てきた選手たちの気持ちを考えると本当に残念でなりません。奄美群島の観光経済にも、この共存していかねければならない「脅威」は、大きな打撃を与えています。

私たちにできることは、「ソーシャルディスタンス」「思いやりの距離」を守りながら感染予防や免疫力の向上を心掛け、健康的な環境をつくっていくことだと思えます。そのような中、色々な情報が飛び交うことで、市民の皆様が混乱をきたすことがあつてはなりません。今、人権への配慮という点で一人一人のプラスアルファの努力と思いやりが求められていると思えます。市民の皆様で知恵を出し合い、この難局を乗り切っていきましょう。

チャレンジ奄美一同

1 令和2年第2回(6月)定例会における主な議案について

●2年度一般会計補正予算第1・2号(計53億158万円の増額、専決処分)の主な内容は、

①特別定額給付金43億460万円：国民一人当たり一律10万円の給付。7/13現在給付率98.2%、申請期限は8/25(お忘れなく！)

②緊急経済対策商品券給付事業2億3500万円：全市民に「奄美市応援券」5千円分を交付し、消費活動と経済循環を促進する。7/6現在使用可能店舗533店(随時拡大中)。使用期限は来年3/15

③事業所支援給付金3億7500万円：市内の中小・個人事業者で今年3～6月のいずれかで売上が前年同月比2割以上5割未満減少した事業者

に最大30万円を給付。申請期限は8/31
④生活支援特例貸付金1億120万円：市社会福祉協議会が窓口の「緊急小口資金」貸付に連動し、その利用者に追加で上限30万円を貸し付け。無利子・保証人不要。据置1年・償還2年以内

⑤緊急対策プレミアム商品券助成事業2400万円：奄美大島商工会議所発行の「飲食店応援プレミアム商品券」を支援。発行総額5千万円分、プレミアム率66%

⑥観光事業者ブラッシュアップ助成事業、市民向け宿泊・体験プログラム助成事業各1千万円：観光事業者や市民による市内の観光需要を喚起し、施設等利用を促進する

⑦その他、「お達者ご長寿応援券」の郵送交付、「敬老祝い金」の振込給付、子育て世代臨時特別給付金(児

童手当に1万円上乘せ)、ひとり親世帯応援給付金(児童扶養手当に5万円上乘せ)、給食費減免(4・5月分)、雇用維持に向けた副業応援助成金、雇用支援制度活用促進補助金(雇用調整助成金申請のための社会保険労務士への手数料を補助)、住居確保給付金、学校臨時休業対策補助金(給食食材キャンセル対応)、水道・下水道基本料金の減免措置など

●同一般会計補正予算第3号(3億3191万円

の増額)の主な内容は、

小中学校全児童・生徒に配付するタブレット端末購入費1億4582万円、奄美海洋展示館リニューアル事業5千万円、定期巡回随時対

応型訪問介護看護事業補助金886万円など

●同一般会計補正予算第4号(9483万円の増額)⇒結果、一般会計総額は393億5630万円。その主な内容は、新型コロナ対策として、ひとり親世帯臨時特別給付金(国事業)など

●国民健康保険事業・と畜場等3特別会計の補正予算
●障がい者等の医療費助成制度の現物給付(窓口無料)を意見書として鹿児島県に求める請願、教職員定数改善等を求める請願、地方財政の充実・強化を求める請願、日米地位協定の見直しを求める陳情 ⇒ 採択

●瀬戸内分屯地、貯蔵庫地区・大型弾薬庫建設中止の奄美市議会決議を求める陳情 ⇒ 不採択

☆国・県・市等の新型コロナ対策一覧については、奄美市ホームページより「市民生活」「事業者支援」でご検索ください！

議会トピックス

直近の議会での決定事項や進捗状況についてお知らせします

ゆげ洋平の



ご報告

1 学校再開後の授業時数の現状と夏休みの影響について

新型コロナウイルスの影響で小中学校が臨時休校になり、その間の時数をどう補うのか懸念していたので質問致しました。1年間を通して予備時数で対応したり、行事の精選や、週の授業時数を増やしたりするなど、各学校の実情に応じて授業時数を補っている。学力低下を招かないよう、授業の質の向上や必要な学習内容の充実についても、改めて指導を行う。夏休みについては、8月からということでした。

2 スポーツや文化・芸術の大会中止による今後の救済措置について

新型コロナウイルスの影響で大会等が中止になり、目標のためにきつい練習にも耐えてきた小中学生達にとっては、言い表せないぐら



住用町「三太郎の里」横の空きスペース。イベント等での臨時駐車場として使われていますが、住民や観光客にとってさらに活用できる使い方を提案していきます。

3 住用町内海公園地区等への観光拠点施設の整備促進について

バンガロー奥にある内海公園へゴ観察園のグラウンドゴルフ場としての活用ができないか質問しました。まず第一に自然観察を楽しむための施設として役割

いの悔しさがあると思います。各県においては、代替大会等が行われている中、不要になった予算などを補助できないか質問させて頂きました。万全の新型コロナウイルス感染防止対策を取ったうえで、各競技連盟、協会等の皆様方が、代替大会の開催を検討しているの、できる限りの協力を行うということでした。

安田そうへいの



ご報告

1 新型コロナウイルス感染拡大防止の充実を！

社会経済活動の拡大に向けて市民や来島者の安全性や安心感を高めるためにも、地元での検査の必要性を訴えました。現状の本土での検査では時間もかかり、受検者にも医療従事者にも大きな負担がかかります。本市としても離島の不利性を認識しており、5市町村で協議して、県に対しPCR検査機器の設置

を發揮するよう活用を図ること。次に三太郎の里横のスペースにドッグラン施設を計画できないか質問しました。臨時駐車場がなくなることで、イベント来場者の利便性に直接影響を及ぼすとのこと。今後の地域振興策を検討する際の参考にするとのことでした。9月には、遊具も完成します。今後とも、人が集まる施設の実現に努めていきます。

奄美大島コロナ警戒レベル

警戒レベル	状態	心がけていただきたい行動目安	公共施設等の対応想定
高 警戒レベル 5	・奄美大島内で集団感染が発生 立憲憲法保障の危機 ・政府による緊急事態宣言発令 (全国もしくは発令状況による)	【住民】不要不急な外出は控えよう！ 【事業者・来島者】 国や県の要請に基づいた行動へのご協力を！	○原則「休校」等の措置 ○市町村主催行事の中止措置
警戒レベル 4	・奄美大島内で感染確認 ・感染者及び濃厚接触者の陰性確認がとれていない ・感染経路不明の感染者確認	【住民】不要不急な外出は控えよう！ 【事業者・来島者】 【市民】集団感染防止意識の徹底を！ 【来島者】市町村の協力要請にご協力ください！	○一部施設における利用制限・閉館等措置 ○市町村主催行事の延期又は中止
警戒レベル 3	・奄美大島内での感染者無し ・感染者発生地域との往来によるリスクの高まり	○自分を守る行動（うつらない） ○周りへの配慮行動（うつさない）の奥義！ 【住民】新しい生活様式の徹底！ 【事業者】集積ことガイドラインを守ろう！ 【来島者】マスク着用などしまつちゅへの心遣いをしっかりと！	○感染拡大防止対策を徹底しながら、基本的に通常運営を継続
警戒レベル 2	・奄美大島内での感染者無し	【住民】新しい生活様式は忘れずに！ 【事業者】集積ことガイドラインを守ろう！ 【来島者】マスク着用などしまつちゅへの心遣いは忘れずに！	○感染拡大防止対策を徹底しながら、基本的に通常運営を継続
低 警戒レベル 1	・治療法の確立	【みんなで】「ポストコロナ社会」として、これまでの生活様式を見直そう！！	○「新しい生活様式」を定義、通常運営

「公共施設等の対応」については、各市町村で異なる場合があります。各市町村へお尋ねください。
奄美市・大和村・宇検村・瀬戸内町・龍郷町

を要望。その後、県の6月補正予算で県立大島病院にPCR検査機器の整備が決まりました。さらに、市に対して提案した医療従事者が帰宅困難な場合への滞在先確保についても、県が支援事業を創設。少しずつ体制が整いつつあることを感じます。今後市内で感染が確認された場合については、市役所内での対策本部会議や4町村をはじめ関係機関との協議・調整により、

5市町村で策定した「奄美大島コロナ警戒レベル」により、今の状況や取るべき対策が分かりやすくなりました。これを活用し、適切な行動を心掛けてください！



○ゆげ洋平プロフィール

- 昭和61(1986)年生まれ、34歳
- 文教厚生委員会委員等、現在1期目

連絡先：奄美市住用町見里27

携帯電話：090-5736-2105

Eメール：yugeyouhei@gmail.com

島外との移動・外出・学校・保育施設などの対応を迅速に取るとのこと。これまでの経験を生かし、みんなが安心してコロナとともに共存できる地域づくりを目指していきたいです。

2 経済対策も全力で！

本市独自の「事業所支援給付金」について、前年同月比の売上が5割以上減少していれば国の「持続化給付金」の対象となり、市の制度は利用できません。申請状況を見ながら、要件の緩和や新しい支援策の創設を要望しました。また、好評だった「観光事業者ブラッシュアップ助成事業」と「市民向け宿泊・体験プログラム助成事業」についても増額を要望、地域内での観光需要の創出につながればと思います。経済回復に向けて民間を交えた協議会により政策立案することを提案したところ、中小企業・小規模企業振興条例に基づく「中小企業振興会議」を活用して経済対策を協議したいとの答弁、期待しています。



まさのたくやのご報告

1 台風シーズンを迎えるにあたっての避難所の運営について

近年は過去に例のない大雨や災害が各地で発生しております。台風シーズンを迎えるにあたって、奄美市の避難所でも「三密」を避ける運営が必要だと考えられます。奄美市では114か所の避難所に担当者が136名配置され、住用・笠利・名瀬地区に1か所ずつ保健師を配置し、発熱者等に対応していくこととなります。また、現在、島内ではまだ協力的体制が整ってはおりませんが、ホテル等の活用ができるようになれば、早めに避難が必要な方（アレルギーのある方・妊婦・体の不自由な方等）も安心して避難できますので、要望し続けていきたいと思えます。また、九州の豪雨災害から学んだこととして、段ボールベッドや仕切り、空調の整備な

どの必要性を感じておりますので、こちらも要望していきたいと思えます。

2 「マイタイムライン」という考え方

全国で700か所以上の自治体が自らの防災計画を事前に考える「マイタイムライン」を導入しております。今までの避難は、行政側からの発信であり、住民側に避難する意識がなければ意味がありませんでした。これからは、家庭内で話し、地域

で考え、町や市へボトムアップされなければならぬと思っております。「学校にいる時・遊んでいる時・仕事をしている時・買い物をしてる時：急なタイミングで何かが起きたらどうする!？」と、話し合ってみてはいかがでしょう。家族がお互いの行動を事前に知っておくことで、落ち着いた行動につながると思えます。家族で話し合うことから生まれるそれぞれの「マイタイムライン」、ぜひ取り組んでみてください。

伊津部町70代のマイタイムライン

～大型台風直撃を想定～

避難
2日前

台風情報・進路チェック
持病の薬・必需品の買い出し
伊津部町の避難所の確認
避難リュックを準備

避難
1日前

ネコを預ける ゴミ箱の片付け
雨戸を閉める
家族のスケジュールを確認
電池・懐中電灯・卓上コンロのガスの確認

台風直撃
数時間前

ガスの元栓・戸締り
商品を高い所へ移す
いつでも出れる準備をする
運動靴で避難する

避難完了！

伊津部町70代のマイタイムラインです。家族で話し合っ、実際の避難をイメージしておくことが大切と感じました。



○まさのたくやプロフィール
●昭和46（1971）年生まれ、48歳
●総務企画委員会委員等、現在1期目
連絡先：奄美市名瀬伊津部町13-11
携帯電話：090-9573-6619



○安田そうへいプロフィール
●昭和54（1979）年生まれ、41歳
●産業建設委員会委員等、現在3期目
連絡先：奄美市名瀬小俣町29-32
携帯電話：090-3546-7031

Eメール：komeyamasano@gmail.com

Eメール：sohei@mskj.or.jp

これまでチャレンジ奄美では、新型コロナウイルス対策について数度にわたり行政や議会に要望・提案活動を行いました。その内容は重複を含めて39項目に上ります。行政の理解を得て既に実現したもの、現在進行中のもの、未着手のものなどありますが、行政と議会は概ね同じ方向を向いていると感じています。その中でも今後特に重要と考えるものをご紹介します、よりよい実現を目指すして取り組んでいくとともに、皆様からさらなるご意見・ご提言を頂き、この未曾有の危機を力を合わせて乗り越えていけるよう努力して参ります！

新型コロナウイルス対策の要望・提案

チャレンジ奄美からの要望・提案の内容

○医療・保健・福祉

1. 第2波・第3波の襲来に備えた体制の強化。具体的には、
 - ・検査体制の強化(奄美でもPCR検査や抗体検査等を実施できるように)
 - ・指定医療機関である県立大島病院との情報共有・連携の強化
 - ・軽症・中等症・重症別の受入施設の準備や増床
 - ・医療機関におけるマスク・防護具等必要物資の確保・備蓄 など
 以上を、関係機関との連携のもと、本市においても協力して取り組むこと。
2. 感染者及びその家族、濃厚接触者とされた方及びその家族、医療従事者及びその家族のプライバシーを断固として守り、普段通りの生活が送れるよう支援するとともに、不当な差別や偏見、風評が生じないよう、市民に向け周知徹底を図ること。
3. 市に寄贈されたものを含め、備蓄されているマスク・消毒液等衛生用品の医療機関・高齢者施設・学校・保育施設等への分配や調達・確保の支援をすること。
4. 休業・休校等に伴いDVや児童虐待増加への警鐘が発せられていることに対する関係機関への注意喚起や相談業務の強化に取り組むこと。

○経済・雇用

5. ネット利用に慣れていない事業者への支援。国の持続化給付金や県の支援策等について、商工情報課内に専用ブースを設置し、申請をサポートすること。
6. 観光関連事業者(宿泊・交通・飲食・ガイド等)について、感染防止を前提とした観光客受入に向けて、感染防止策の徹底や感染者確認時の対応方法などについてコミュニケーションを深め、マニュアルを策定するなど今後の備えを充実させること。
7. 農業・漁業における価格低下や出荷量減少に対する支援策を実施すること。
8. 経済・景気の回復に向けて、行政だけでなく、民間の関係者も交えたプロジェクトチームを設置すること。事業者の肌感覚に合った支援策の構築に資するものとする。
9. 精神的ケアが必要な方々への配慮・アプローチの実施。経済的な苦境から、うつや自殺につながるよう、関係機関との連携のもと、相談体制を確立しケアが届くようにすること。

○行政・防災

10. コロナ対策に係るインフラ(電気・ガス・水道・電話・インターネットプロバイダー・NHKなど)を含む各種支援策の情報提供を徹底すること。
11. 出水期に向けた避難所運営において三密を避けるなどの準備をしておくこと。
12. 日毎の空港・船舶利用者数の推移を公表すること(重要な参考情報として)。
13. コロナ対策専用の基金を設け、全国から寄付を募ること。

●お困りごとや奄美市へのご要望等ありましたらお寄せください！皆様のお声が、私たちチャレンジ奄美の活動の源になります

●本チラシの「配布ボランティア」を募集しております

●SNS(フェイスブック、ツイッター)やしーまブログでも活動情報発信中です！

各議員名でご検索ください

よろしくお祈りします！

